



▲船に乗せられて海を渡る神輿



▲獅子舞のようす

波にゆられ海を渡る神輿

産島八幡宮例祭

市無形民俗文化財に指定されている「産島八幡宮例祭」が10月26・27日、河浦町宮野河内の上平地区で行われました。初日に神輿を船に乗せ、同地区の無人島・産島にある産島八幡宮から上平港まで運ぶ“お下り”があり、上平十五社宮に一晩まつられたあと、翌日“お上り”で同島へ帰るといふもので、“海を渡る祭礼”として広く知られています。

両日は、大漁旗を付けた船団による神幸行列や、色鮮やかな衣装に身を包んだ子どもたちによる太鼓踊り、獅子舞などが行われ多くの見物客でにぎわいを見せていました。

地元で親しまれて20年

しんわたやけ市場が開業20周年

新和町小宮地の農産物直売所「しんわたやけ市場」が今年10月に開業20周年を迎え、10月25日に記念式典が同所で行われました。式典では、神事後、小宮地保育所の園児たちによるもちつきが行われ、来店者につきたてのもちや豚汁がふるまわれ、おおぜいの人でにぎわいました。

同直売所は、地元でとれた新鮮な野菜や果物などを販売しています。毎週木・金・土曜日の午前9時から午後6時まで営業。詳細は、同直売所☎0967-232039へ。



▲もちをつく園児たち

やさしく響く子どもたちの歌声

福連木子守唄 & 童謡まつり2013

「福連木子守唄 & 童謡まつり2013」が11月10日、天草町の福連木体育館で開催され、家族連れなど約2,000人が来場しました。同まつり実行委員会が、子守唄の保存・継承と地域振興を目的に毎年開催しているもの。ステージでは、町内外の保育園児による童謡や踊りの発表、天草小学校の児童による『福連木の子守唄』が披露され、来場者からは大きな拍手が送られていました。また、もち投げや特産品の販売などもあり、会場は多くの人でにぎわいました。



▲童謡を歌う園児たち

看護師を目ざして決意を新たに

市立本渡看護専門学校・戴帽式

10月19日、市立本渡看護専門学校で「戴帽式」が行われました。同校が、学生に看護師としての責任と自覚を促し、意識を高めてもらおうと毎年実施しているものです。

4月から半年間、看護の基礎を学んだ1年生40人が、教員から純白のナースキャップを付けてもらった後、火をともしたキャンドルを手にナイチンゲール誓詞を朗唱。その後、学生を代表して松尾佳那さんが誓いのことばを述べ、決意を新たにしていました。



▲キャンドルに火をともし学生

イベント・芸術作品がめじろおし

天草市民芸術祭2013御所浦地区文化祭

10月19・20日、御所浦島開発総合センターで「天草市民芸術祭2013御所浦地区文化祭」が開かれました。同地区文化協会が開催したもので、約140人が来場しました。会場には、地域住民が出展した盆栽や生け花、書・絵画などの作品約150点が展示されたほか、ステージでは、地域住民による舞踊や歌、寸劇などが披露され、観客から大きな歓声上がるなど会場は大いに盛り上がっていました。



▲寸劇を披露する出場者

潮風が吹く秋の牛深を満喫

牛深ワンわんウォーキング大会

11月10日、「第12回牛深ワンわんウォーキング」が開かれ、県内外から約700人が参加しました。牛深商工会議所が、牛深の自然やまち並みを楽しんでもらおうと開催しているもので、うしぶか海影館をスタート・ゴールとする5.5・8・13kmのコースで実施。心地よい潮風が吹く中、参加者は道中で配られた牛深産の“ちくわ”や“みかん”を食べながら、思いおみのペースで歩いていました。ゴール後は、地元の食材を使ったイカリングカレーやぜんざいがふるまわれ、秋の牛深を満喫していました。



▲牛深ハイヤ大橋を歩く参加者たち